



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

13号

平成27年4月28日発行

～病院長 あいさつ～



平成27年4月より病院長に就任した徳田です。よろしくお願い申し上げます。

私は、平成14年7月より鹿児島大学旧第一外科教室より派遣され、以後消化器外科腫瘍外科を中心に診療してきました。当院では歴代の病院長である野本浩一先生、坪内斉志先生のご指導のもとで、医師としてまた外科医としての修練を受けました。諸先輩方の後任としてこのたび病院長を任せられ、身の引き締まる思いです。

当院の役目は西諸医療圏の基幹病院として機能することです。ここ数年医師不足による地域医療の崩壊の波が当院にも押し寄せており、常勤医が不足している現状で、地域住民、周囲の先生方にご迷惑おかけしております。地域の病院の勤務医不足の問題は短時間に解決は困難であり、ある程度の時間が必要かとは感じておりますが、病院として引き続き努力を惜しまない所存であります。

地域医療連携においては、その連携体制の構築と充実が必要と考えています。周囲の先生方および医療関係の皆様方のご協力には常に感謝しております。医師会の先生方、および宮崎、鹿児島の高次の病院との連携をさらに充実し、西諸医療圏の地域医療が安定、進歩するように当院の機能を維持向上すべきと考えております。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

またこのたび地域連携室長も前任の島名昭彦先生より引き継ぐこととなりました。この地域連携だよりに対してのご意見ご感想、および症例検討会へのご参加等も引き続きよろしくお願い申し上げます。

小林市立病院 病院長 徳田 浩喜

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」



【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します

診療部紹介

今回は

整形外科

です。

「すべて診ます。なんでも診ます。の、整形外科です。」

皆様いつも大変お世話になります。貴重な症例をご紹介いただいたり、術後の患者さんを快く引き受けていただき誠に感謝いたしております。

地域医療のなかで、医療をその地域内で完結させることをいつも目指していて、したがって、頭から足の先まですべて診ます。なんでも診ます。が、当科の方針、モットーです。

現代の整形外科は、いろいろな損傷を対象に治療しています。

交通事故（ときに高速道路での高エネルギー損傷）、転落・転倒による外傷・骨折・脊損、骨・関節の感染、遺残変形。

また、慢性的な変形性疾患（膝、肩、股関節、頸椎、腰椎、手、足）の手術、保存療法をその患者さんにとって、背景も考慮し、一番よい治療をじっくり話し合いながら、患者さん・家族に納得いただいたうえで方針を決定しています。限りなく近い高度専門医療も目指しております。

厳密な評価のために、up to date の勉強もしております。学会発表、院内症例検討会、術前カンファレンスで鍛えております。

とくに、心不全、腎不全の高齢者の大腿骨骨折にたいし、大学や、県立病院でも手術できないと言われても、麻酔科の先生にブロック療法していただき、多くの手術を施行しております。

ただし、小児の先天奇形や、小児の悪性腫瘍は、小児科 Dr のいる大学病院でお願いしております。

患者さんが明るく、こころがほっこりとなる整形外来、整形病棟を目標に日夜邁進しております。

今後とも宜しくご指導、ご鞭撻お願い申し上げます。



整形外科科長 中村 憲一



看護部紹介

今回は **3 階 病 棟** です。

当院3階病棟は看護師25名、看護補助者4名、クラーク2名、管理栄養士1名が勤務しています。

病床数は40床で入院される患者さんは、尿路系の泌尿器科疾患と、骨関節系の整形外科の患者さんが主ですが、消化器外科、救急科、内科等の患者さんも少なくありません。

入院されている患者さんに安心して安全な看護を提供する為に、いつも笑顔で明るく、患者さんやご家族の方が何でも相談できる雰囲気づくりに努めています。

当病棟では平成26年に中堅スタッフを中心となりフィッシュ哲学（フィッシュ！）を取り入れています。フィッシュ！とは組織の活性化に効果があるということで、近年看護の現場で活用されている実践方法です。①態度を選ぶ（やってみよう！）②仕事を楽しむ③人を喜ばせる④注意を向ける、この4つの原理から成ります。仕事に取り組む姿勢を他のスタッフや他職種から学び、また、季節ごとの行事やスタッフの入職時にはウェルカムボードの作成や退職時には感謝の思いを込めてサンクスメッセージのプレゼントなども行っています。昨年末のクリスマスには、患者さんへスタッフサンタからのメッセージとプレゼントに満開の笑顔を見ることができました。私たちスタッフもこの笑顔にたくさん癒されました。

また、新たな取り組みとしてパートナーシップナーシングの導入を目指し、現在は日勤帯2人1組で患者さんのケアを担当する看護方式を行っています。2人で患者さんを見ることで、互いに学びながら補完し、知識と経験を生かし、よりよい看護の提供に努めるように日々努力しています。

多種多様の入院患者さんに対応できるよう、それぞれ勉強したことを伝達し、全体での定期的な勉強会も行っています。学んだことを実践に活かせるように、知識だけでなく技術の向上にも日々精進しています。



3階病棟副師長 吉永 明子



コメディカル紹介

今回は

臨床検査室

です。

臨床検査室には5名の臨床検査技師が勤務しており、時間外はオンコール体制で24時間いつでも必要な検査ができる体制を整えています。また、地区の臨床検査技師と共に研鑽に励み、当院にて定期的な研修会を開催しております。

《検体検査》

患者さんから採取された検体は、様々な情報が詰まっています。この検体を生化学、血清学、細菌学などを応用し、分析・調査します。集められた検査情報をもとに患者さんの病態を把握、病気の程度、治療の効果や予後の推測が行われ、患者様に適切な治療法が選択され治療が進められています。

①生化学免疫検査

酵素・脂質・血糖関連などの31項目の検査・感染症・腫瘍マーカー・甲状腺機能などの検査を行います。

②血液検査

血液中の赤血球・白血球・血小板などの測定を行い、細胞分類や異常細胞の検索等を行います。

出血傾向、血栓症の予防や治療のための血液凝固検査を行います。

③輸血検査

安全な輸血の為、血液型・交差適合試験・抗体スクリーニング検査を行い、血液製剤の適正使用、管理を行います。

④一般検査

尿分析装置で尿中物質を測定、細菌やウイルスなどの迅速検査を行います。

⑤微生物検査

各種検査材料から起因菌の分離・同定および薬剤感受性試験を行います。感染情報の発信基地となって、菌種別検出率や特定の菌に対する薬剤感受性の動向などを報告し院内感染防止の役目を担っています。

《生理検査》

直接患者さんに触れて身体の各種生体情報を波形や画像として記録する検査です。

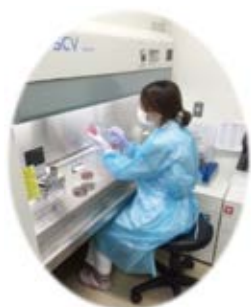
(検査項目)

心電図検査（安静心電図・ホルター心電図）・負荷心電図検査・眼底写真・肺機能検査

超音波（心臓・腹部・乳腺・甲状腺）・脳波検査・脈波伝播速度検査

今後ますます多彩になってくる検査領域のなかで、患者さんや臨床の場に的確な検査結果を迅速に届ける事はもちろん、今後新たに検査室が取り組まなければならないことにも検査室一丸となり検査室の業務拡大に取り組んでいきます。

臨床検査室長 中屋敷 一美



神経内科外来診療が始まりました！

～ 医師紹介 ～

ハヤシ ダイスケ
林 大輔



プロフィール

○趣味 オーディオ
(ジャンルを問わず色々聴きます!!)

初めまして。鹿児島大学神経内科（第3内科）からまいりました、林と申します。

私は鹿児島市で生まれ、大学を卒業後、聖マリア病院、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院などを経て、今年度から週に1度、木曜日に当院へ出向することとなりました。神経内科専門医です。

小林市の中心には初めて来ました。近隣の生駒高原には何度か足を運んだことがあります。これからは、小林市周辺を自分のなじみの地にしていきたいと思っております。

さて、神経内科ですが、脳や脊髄、末梢神経や筋肉などの病気を扱います。国の指定する難病に該当することも多く、状態をみながら長くコントロールしていかなければならないことも多いです。

近隣の医療機関の皆様におかれましては、神経内科に関する御相談がございましたら、御紹介いただけたらと思います。

疾患によっては、すぐに診断がつかず、長期的にみていきながら次第に診断が明らかになっていくこともありますが、どうぞよろしく願いいたします。

あらかじめ、診察予約が必要になりますので、診察予約申込書もしくは電話にて予約をお願いいたします。

今回のお花

小林市華道連盟より
毎週すばらしいお花を提供していただいております。



新規医師紹介

ヨシミツ コウハイ
吉満 工平



プロフィール

○診療科 消化器外科・腫瘍外科

○趣味・特技 バラエティを見ること



H27年4月より前任の下之園将貴の後任として、鹿児島大学病院より赴任して参りました吉満工平と申します。小林市立病院では消化器外科・腫瘍外科の一員として働かせていただきます。

同期である前任者、前々任者から、小林での生活の楽しさ、また小林市立病院での自身の成長にもつながるような医療環境の話聞き、不安感よりも期待感大きくこちらにやってまいりました。着任してまだ日は浅いですが、手術・検査・診察と充実した日々を送らせていただいております。

前任者同様任期が3か月と短く、長期的に経過を見ていけないことが残念ではありますが、その間少しでも患者さんの力となれるよう頑張っていきたいと考えております。いろいろといたらない点もあるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

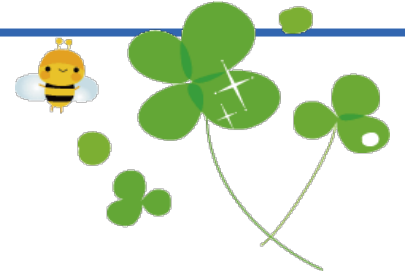
トマリ ケンイチロウ
泊 賢一郎



プロフィール

○診療科 消化器外科・腫瘍外科

○趣味・特技 サーフィン・ウインドサーフィン



小林市立病院の消化器外科・腫瘍外科の泊賢一郎と申します。3月までは県立日南病院で初期研修医として働いていました。小林市出身で小林高校卒業です。久しぶりの故郷で感慨深い思いです。

通常、初期研修が修了すると大学病院の医局に入局することが多いのですが、私の場合は直接採用していただき、就職となっております。大学病院などから赴任してこられる先生方と違って、研修医終わりたてのため未熟で不慣れなことも多いかと思っております。ご迷惑をおかけいたしますがなにとぞよろしくお願いいたします。

第 17 回 症例 検 討 会

平成27年3月9日（月）に「第17回症例検討会」を当院2階大会議室にて開催しました。今回は、院外から2人の方に参加をして頂きました。また、大勢の方々にもお越し頂き、大変充実した会となりました。ありがとうございました。

次回は、平成27年6月を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしております。

第 17 回 症 例 検 討 会

日時 / 参加人数 平成27年3月9日（月） 18時30分～

座長 小林市立病院 泌尿器科医長 森 勝久 先生

演題（発表者） 『当院での高圧蒸気滅菌における滅菌判定法』～ホロー型コンパクトPCD・BI判定法の導入～
種子田 健太

『腎センターにおけるフットケアの取り組み』～日本糖尿病療養指導士のかかわり～
医療法人養気会 池井病院 腎センター 村田 多美子

『当院における栄養療法への取り組みと経腸栄養療法を施行した
重症肺炎・急性呼吸促迫症候群における1例』
温谷 恭幸

『脊柱柔軟性への介入が歩行距離延長に奏効した脳梗塞後遺症の一症例』
特定医療法人 友愛会 野尻中央病院 訪問看護ステーション夢の杜 馬場 功時

『大腿骨転子部骨折に対する手術法と麻酔の選択』
整形外科 日高 亮

『絞扼性イレウス手術症例の検討』
消化器外科・腫瘍外科 島名 昭彦



症例検討会 ご案内

第18回症例検討会を下記の日程で開催する運びとなりました。

皆様には、何かとお忙しい時期ではあると思いますが、スケジュール調整のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成27年6月22日（月） 午後6時30分から

場 所：小林市立病院 2階大会議室

診察予約について

当診療科での待ち時間短縮を目的として
平成26年4月1日より
紹介患者さんの事前予約が必要になりました！



予約方法

- ①別添の「診療予約申込書」にご記入のうえ、FAXでお送りください。
- ②担当科と協議の上、診療日時を決定し、「診療予約通知書」をFAXさせていただきます。

FAX 番号：0984-23-8226

受付時間：9時～16時

※上記時間以外のFAXは翌朝、休日をはさむ場合は
休日明けの対応となりますのでご了承ください

診察予約申込書が新しくなりました。（神経内科を追加いたしました。）新しい用紙をご活用下さい。

連絡先

小林市立病院 地域医療連携室 TEL 0984-23-8225（直通）
FAX 0984-23-8226



編集後記

4月になり、気温が上がりだんだん過ごしやすい季節になりました。桜の見頃は過ぎましたが、いろいろな草花や、大きなランドセルを背負った1年生など。至る所で春を感じます。

私事ですが、長男が小学1年生になり、毎日楽しく学校に通っています。小学校まで遠いので、朝が早く、早起きが苦手な長男は毎日布団から出てこれないようです。この先どうなることか不安な毎日を送りそうです。。。

まだ肌寒い日が続いてますので、体調管理には気をつけていきたいと思います。